

常葉大学・常葉大学短期大学部 グリーン・プロジェクト2023

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



キーワード

SDGs、エネルギー、節電

〇取り組んだきっかけ

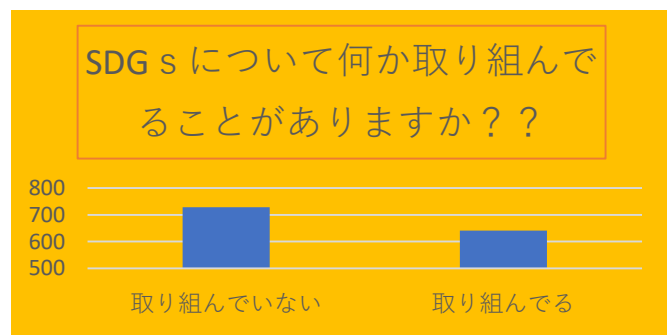
節電は身近にあるものであり、私たちにとって比較的イメージしやすいものであると思っています。そして、考えたその時から始めることが出来ることで、始めるまでのハードルはとて低いと思ったからです。

〇活動の目的

学生一人一人が、節電を心掛けることで、SDGsを自分事として考えてもらいたかったからです。さらに、自分たちでも出来ることがあることも知ってもらいたかったからです。

〇期待される効果

昨年行ったSDGsについてのアンケートを行うことにより、学生に定期的な意識する機会を提供することが出来ます。継続的に考える機会を与えることで、SDGsについての意識を定着させることが出来ると考えています。さらに、SDGsは自分の思っている以上に身近にあり、すぐに始めることが出来るということを知ってもらえたいと思います。



〇具体的な内容

まず、昨年に引き続きSDGsにまつわる活動を行っているかアンケートをとるとともに、自身が節電のために出来ることと、草薙キャンパスではどのような節電をすることが出来るかについて、意見を求めました。

このアンケートには、学生・教員含め、1370人の方が参加してくださいました。アンケートの結果、SDGsの取組状況は、多くが取り組んでいないということが分かりました。そして、節電で自身が出来ることについて、夏に行ったからか、エアコンの温度設定や使用時間についての言及が多くみられました。さらに、使わない部屋の消灯、シャワーの節水など様々な意見が寄せられました。続いて、草薙キャンパスで出来る節電についての意見は、教室の電気をつけっぱなしにしないなどのような、照明についての意見が多く見られました。

キャンパスで出来る節電の取組について、私たちは学生の自習場所を分散させないために一定期間施設の使用を中止する対応を取りました。草薙キャンパスは7月中旬にとコカフェの16時50分から20時の間の利用を中止し、瀬名キャンパスは7月の1カ月間、毎週金曜日の14時以降、2号館3階学生ホールの電気とエアコンの電源をOFFにするという対応をしました。

また、7月11日(火)に「みんなでストップ温暖化！！～今日から始める省エネ・節電大作戦～」という静岡市職員の方にお越しいただく市政出前講座を行いました。ここでは、学生を対象に、温暖化についての基礎的な知識から、節電の重要性について教えていただきました。

このようなアンケートをすることで、学生や教員が少しでも、SDGsについて向き合う機会が作れたのではないかと思います。

鈴木幸子

所属学部・学科 社会環境学部

社会環境学科

学生評議員会 SDGs活動リーダー



連携先

常葉大学・常葉大学短期大学部

静岡草薙キャンパス学生課・静岡瀬名キャンパス

学生担当